



生涯を通じて、作業療法とともに年を重ねること

本声明の位置づけ

作業療法は、生涯を通して健康的に年を重ねるために必要な包括的サービスとして、重要な役割を担っている。作業の価値という作業療法独自の焦点は、参加およびインクルージョン、尊重、安心を支えるために、意味のある文脈の中で高齢者の身体機能を向上させる。作業療法士は、生涯にわたる活動や社会的交流に参加するアクティブ・エイジングが、健康や安寧、生活の質の向上と維持に大きく寄与することを認識している¹。

作業療法士は、環境、作業、人の関係を熟知した専門家である。エビデンスに基づいたプロセスを用いて、作業療法は個人の能力や環境、制度政策、社会要因に対処し、高齢者が希望または必要とする作業に従事する権利と機会を推進する。

作業療法に対するこの見解の重要性

WHO の「高齢化と健康に関する世界戦略・行動計画」² は、すべての人々が健康で長生きできるというビジョンを目指している。作業療法士は、高齢者が意味のある作業を行い、経済的利益をもたらす、地域社会の文化的基盤に加わることができるようにすることで、このビジョンに貢献している。また作業療法士は、高齢者のニーズに対する認識を高め包括的なデザインの開発を支援することで、作業のあり方を決めている。作業療法士は、支援技術の提供と教育・訓練への関与、地域参加と安全の確保、政策や意識への働きかけ、住宅や地域の建物、交通機関、屋外スペースなどへのアクセシビリティへの取り組みなど、年齢に優しい環境を促進するための多面的な役割を担っている³。

高齢者は年齢差別力学の結果として、しばしば社会的・経済的機会が減少し、自己評価が低くなり、さらに心身の健康が悪化する恐れがあることがわかっている⁴。作業療法士は、作業上の不公正や社会的疎外に対抗するための権利に基づくアプローチを行い、すべての人が必要かつ自ら選択した作業に自由に従事する機会を促進する。

社会に対するこの見解が与える重要性

高齢化は、多くの国でかつてないスピードで進行している。2050年には5人に1人が60歳以上となり、世界中で合計20億人が60歳以上になると予想されている²。この人口動態は、広範囲に影響を及ぼしている。高齢者の作業選択と可能性は、社会的背景によって左右されることが知られており、自立性、可動性、生活の質、安全性は、建築環境の特徴に影響される⁵。高齢者の社会参加を可能にする包括的な支援と利用しやすいインフラが必要である。

作業療法士はキーとなるパートナーと協力して作業参加を促し、地域の状況や人々のニーズに関連する社会政策やインフラに影響を与える。作業療法士によるクライアント中心の遂行能力向上アプローチは、高齢者が自らの環境設計に関与し、その場所で働き、生活し、歳を重ねる能力を高め、彼らの全体的な健康と安寧に貢献することを助けるものである。高齢者は人生のさまざまな分野で社会に貢献できる幅広い経験を有しており、その恩恵は多岐にわたる。このような知識やスキルの資源を活用できるようにすることは、社会的な孤立を減らし、多様性や異世代間の関わり、生産性を促進して社会の発展を促すことができる。

結論

高齢者は、家族や地域社会、経済にとって価値ある人材だが、加齢に伴う能力低下やそれに伴う役割の喪失、社会的孤立や疎外といったリスクに直面している。健康に歳を重ねるということは、高齢になっても幸福でいられるように、機能を高め、維持するための戦略である²。高齢者が健やかに年を重ねることができるよう、作業療法士は生涯にわたって作業に従事することを可能にし、また作業をサポートする環境を整える重要な役割を担っている。

References

- (1) World Health Organization. *World Report on Ageing and Health*.2015; Available from <https://www.who.int/ageing/publications/world-report-2015/en/> [Accessed July 23, 2020].
- (2) World Health Organisation. Global Strategy and Action Plan on Aging and Health. 2017; Available from WHO <https://www.who.int/ageing/glob-aslstrategy/en/>[Accessed July 23, 2020].
- (3) Gamliel E, Levi-Belz Y. To end life or to save life: ageism moderates the effect of message framing on attitudes towards older adults' suicide. *International Psychogeriatrics*.2016; 1: 1-8. doi: 10.1017/S1041610216000636
- (4) Rudman DL.Positive Aging and Its Implications for occupational possibilities in later life. *Canadian Journal of Occupational Therapy*.2006. 73: 188-192.
- (5) WHO. *Global Friendly Cities: A Guide*. 2007.Available from <https://www.who.int/ageing/age-friendly-cities-guide/en/> [Accessed July 23,2020].

Contributors:

Claudia von Zweck, Canada
Tracey Partridge, New Zealand
Lee Zakrzewski, Australia
Yara Peterko, Austria
Yedida Borow, Israel
Noa Givon, Israel
Maayan Katz, Israel
Ruty Sagiv, Israel